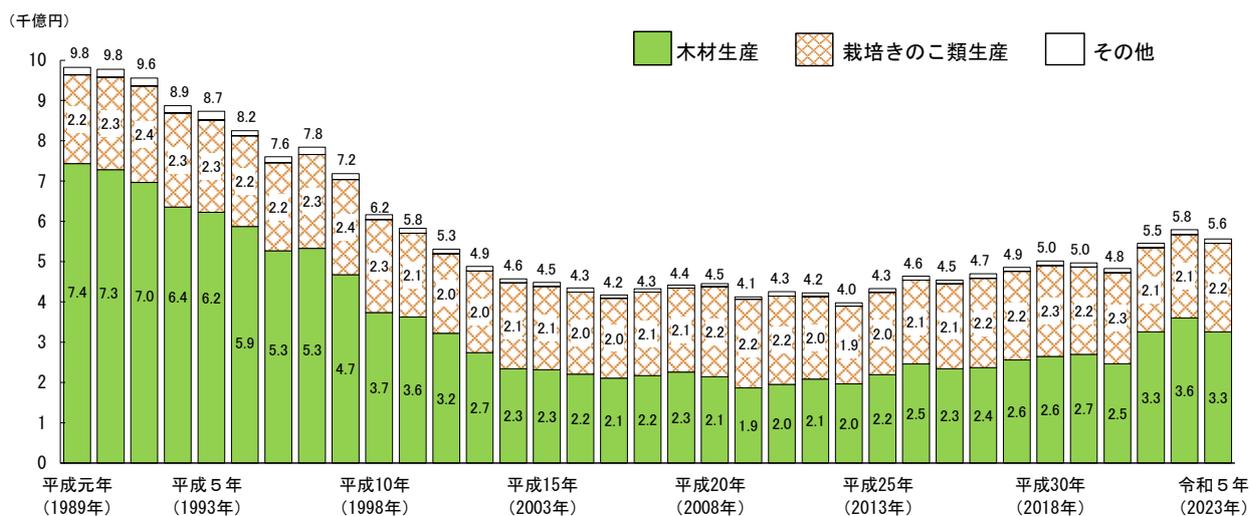


## 【統計結果の概要】

林業産出額は、平成25年以降増加傾向で推移してきたが、令和5年は、製材用素材等の価格の低下や生産量の減少等から、前年に比べ230億円（4.0%）減少し、5,563億円となった。

図1 林業産出額の推移（全国）



注：「その他」とは薪炭生産及び林野副産物採取である（図2において同じ。）。

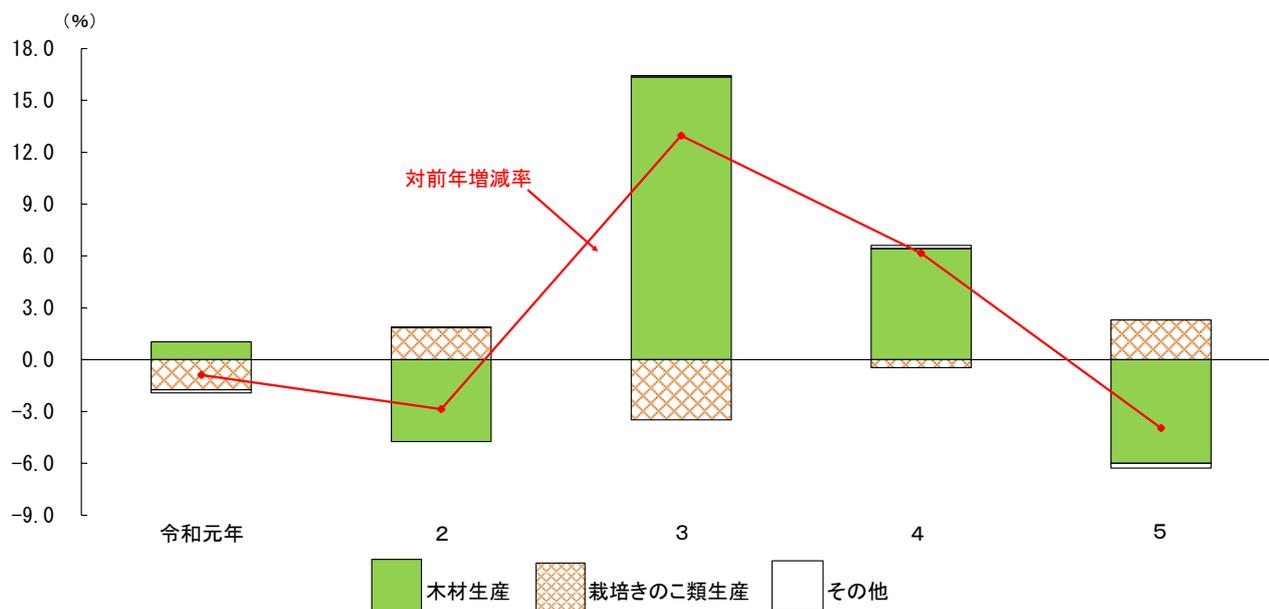
表1 林業産出額（全国）

区 分	令和4年	5		
		実数	構成割合	対前年増減率
	億円	億円	%	%
林業産出額	5,792.2	5,562.5	100.0	△ 4.0
木材生産	3,604.6	3,257.0	58.6	△ 9.6
栽培きのこ類生産	2,066.1	2,199.2	39.5	6.4
薪炭生産	63.9	71.9	1.3	12.5
林野副産物採取	57.6	34.5	0.6	△ 40.1

注：1 表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある（以下同じ。）。

2 「林野副産物採取」にはまつたけ、野生鳥獣、野草等を含む。

図2 林業産出額の対前年増減率と部門別寄与度の推移



【関連データ】

主要林産物の輸出額の推移

区分	令和元年	2	3	4	5	
					実額	対前年増減率
	億円	億円	億円	億円	億円	%
農林水産物 計	9,121.0	9,256.5	11,626.0	13,372.1	13,579.9	1.6
林産物 計	370.4	429.1	569.8	637.6	620.7	△ 2.6
うち 素材(丸太)	147.1	163.4	210.6	205.6	231.1	12.4
製材・加工材	63.0	70.4	103.5	98.4	70.6	△ 28.3
合板、単板その他 積層木材	69.0	61.8	81.2	118.2	105.4	△ 10.9
きのこ類	6.0	8.5	10.3	11.1	10.9	△ 1.6

資料：農林水産省輸出・国際局「農林水産物輸出入概況」及び財務省「貿易統計」

注：1 きのこと類の令和元年の数値は、財務省「貿易統計」から再集計した数値であり、林産物計には含まれていない。

2 金額は、FOB価格（Free on board、運賃・保険料を含まない価格）である。

3 対前年増減率は、原数値（千円単位）で算出した数値である。

## 【統計結果】

### 1 木材生産

木材生産の産出額は、平成 25 年以降、新設住宅着工戸数が堅調に推移してきたことや、中国への丸太等の輸出量が増加したこと、再生可能エネルギーの固定価格買取制度（FIT 制度）等の導入に伴って木質バイオマス発電に利用する燃料用チップ素材の利用量が増加したこと等により、増加傾向で推移してきた。

令和 5 年は、前年に比べ 348 億円（9.6%）減少し、3,257 億円となった。

これは、燃料用チップ素材の利用量及び丸太輸出量は増加したものの、新設住宅着工戸数の減少により、需要が減少したこと等による、すぎ等の製材用素材の価格の低下や生産量の減少等が影響したものと考えられる。

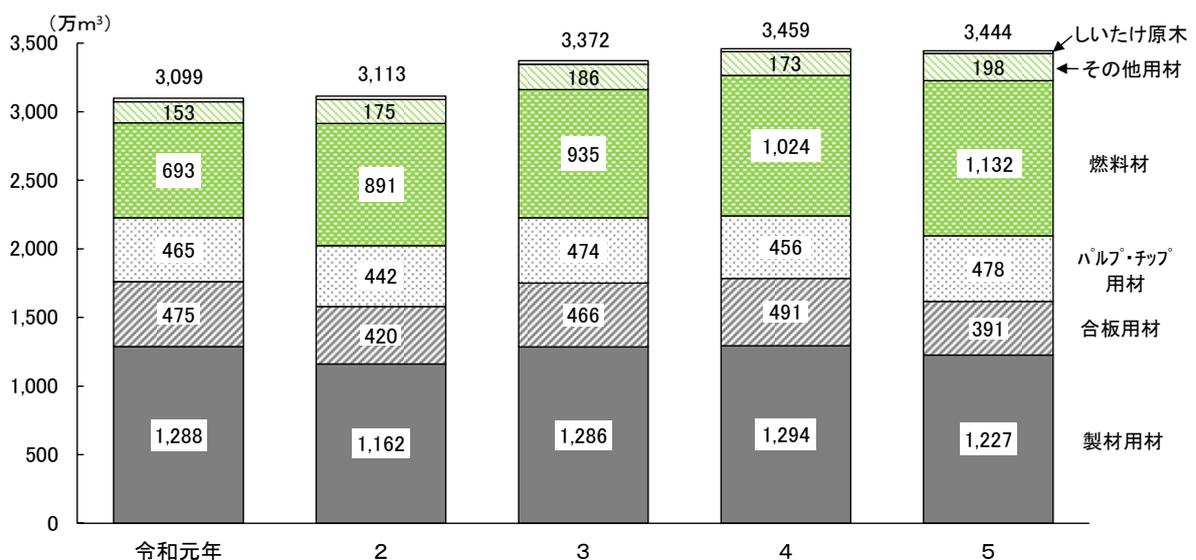
表 2 木材生産の産出額の推移（全国）

区 分	令和元年	2	3	4	5	
					実数	対前年 増減率
	億円	億円	億円	億円	億円	%
木 材 生 産	2,700.0	2,464.3	3,254.1	3,604.6	3,257.0	△ 9.6
製 材 用 素 材 等	2,304.3	1,953.3	2,674.5	2,937.9	2,490.9	△ 15.2
輸 出 丸 太	109.2	123.9	163.3	169.7	171.3	0.9
燃 料 用 チ ッ プ 素 材	286.6	387.1	416.3	497.0	594.9	19.7

注：製材用素材等の産出額には、合単板工場へ直接入荷される合板等用素材及びパルプ工場へ直接入荷されるパルプ用素材を含む。

## 【関連データ】

### 1 木材の国内生産量の推移



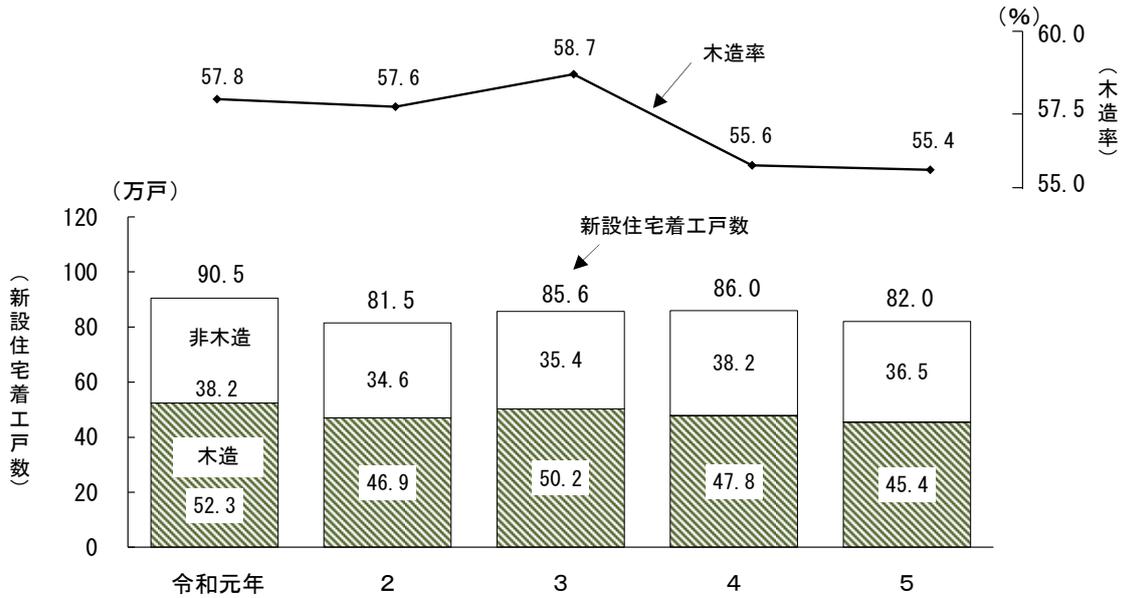
資料：林野庁「木材需給表」

注：1 総需要量のうち国内生産されたものの量である。

2 合板用材は、薄板、単板、ブロックボード、LVL 等である。

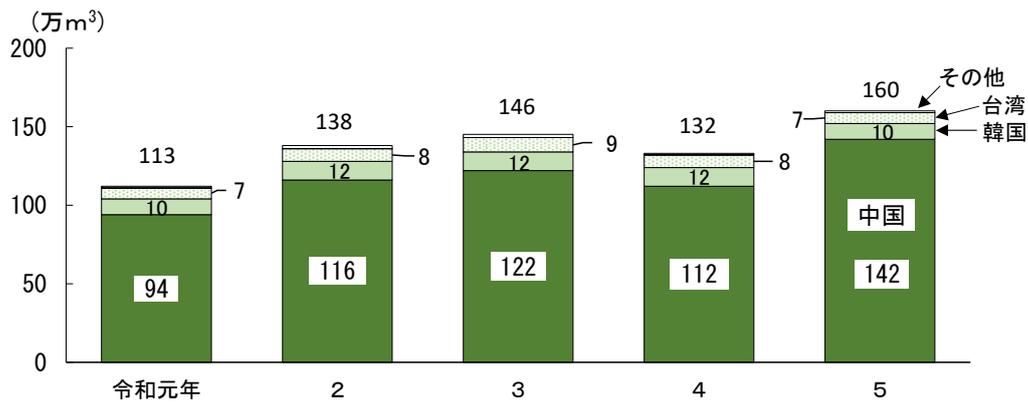
3 令和 2 年に、その他用材の加工材、構造用集成材等を製材用材へ、再生木材をパルプ・チップ用材へ計上しており、令和元年結果もこれに合わせて再集計した値である。そのため、令和元年以降のその他用材は、枕木、電柱、くい丸太、足場丸太等である。

## 2 新設住宅着工戸数と木造率の推移



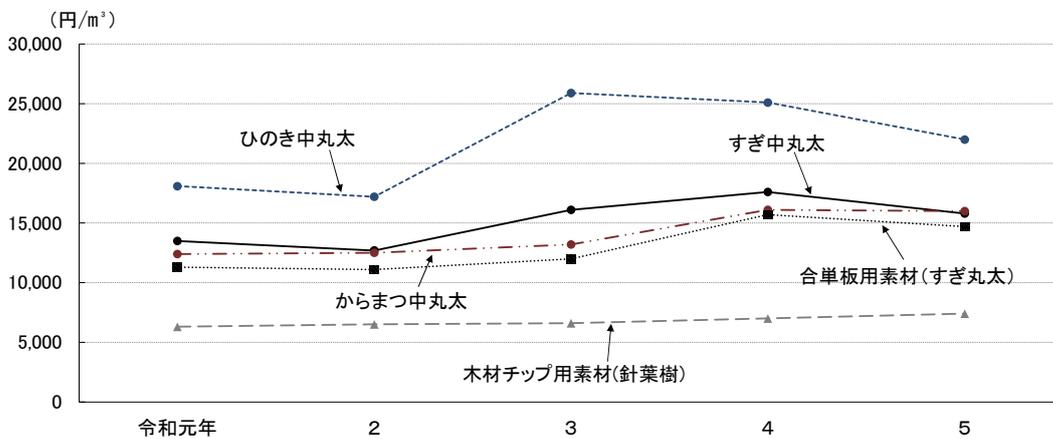
資料：国土交通省「住宅着工統計」  
 注：木造率は、原数値（戸）で算出した数値である。

## 3 素材（丸太）の国別輸出量の推移



資料：農林水産省輸出・国際局「農林水産物輸出入概況」

## 4 主な素材（丸太）価格の推移



資料：農林水産省統計部「木材需給報告書」  
 注：すぎ中丸太は径 14.0～22.0cm、長 3.65～4.0m、ひのき中丸太は径 14.0～22.0cm、長 3.65～4.0m、からまつ中丸太は径 14.0～28.0cm、長 3.65～4.0mのものである。

## 2 栽培きのご類生産

栽培きのご類生産の産出額は、平成25年以降、2,000億円を超える水準で推移してきた。令和5年は、前年に比べ133億円（6.4%）増加し、2,199億円となった。

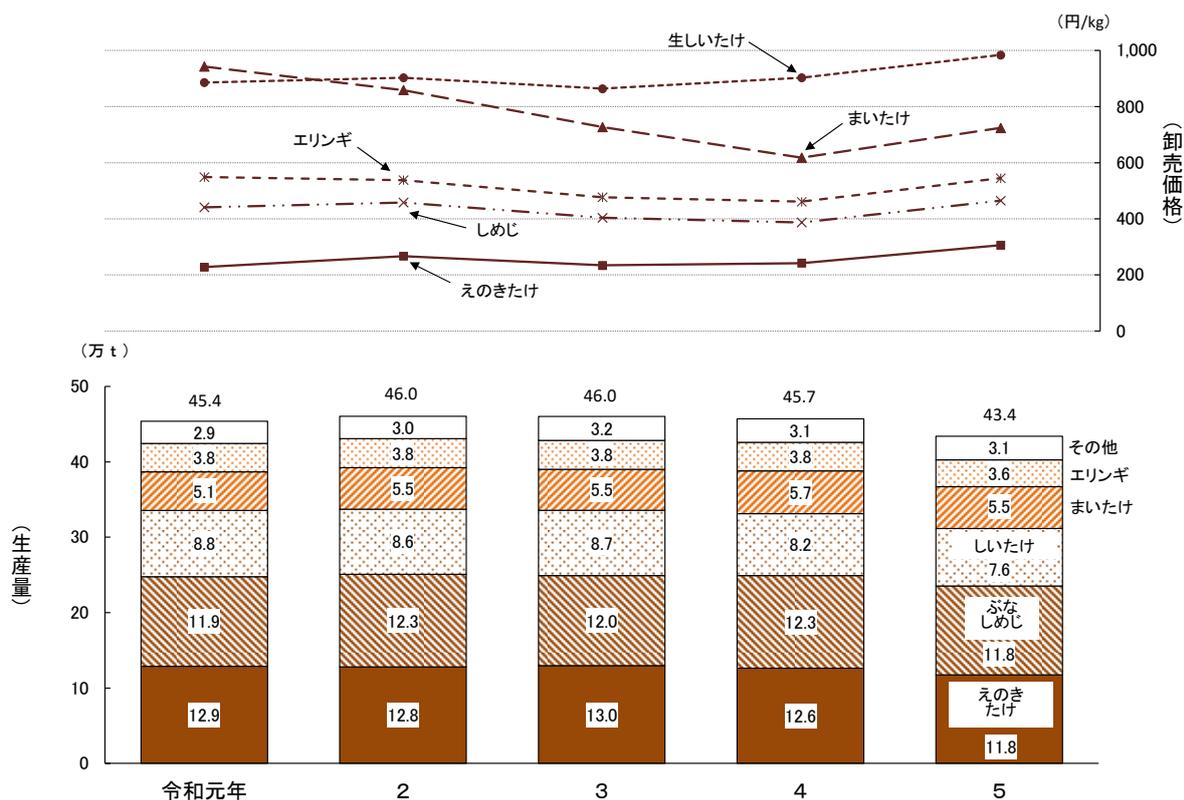
これは、需要に応じた生産や生産者の減少等により生産量が減少したことから、価格が堅調に推移したこと等が寄与したものと考えられる。

表3 栽培きのご類生産の産出額の推移（全国）

区分	単位	令和元年	2	3	4	5
実 額	億円	2,166.7	2,259.3	2,091.3	2,066.1	2,199.2
対前年増減率	%	△ 3.9	4.3	△ 7.4	△ 1.2	6.4

### 【関連データ】

#### きのご類の生産量及び卸売価格の推移



資料：農林水産省統計部「特用林産物生産統計調査」、「青果物卸売市場調査」及び東京都中央卸売市場「市場統計情報（月報・年報）」

注：1 生産量のその他は、なめこ、ひらたけ、まつたけ及びびきくらげ類である。

2 しいたけの生産量は、生しいたけと乾しいたけ（生換算）の合計である。

3 えのきたけ、しめじ及び生しいたけの卸売価格は、青果物卸売市場調査における主要な青果物卸売市場から推計した全国の平均価格、まいたけ及びエリンギの卸売価格は、東京都中央卸売市場年平均価格である。

### 3 都道府県別林業産出額

令和5年における林業産出額の上位5都道府県は、長野県が609億円(対前年増減率6.0%増加)、新潟県が472億円(同7.2%増加)、北海道が434億円(同9.4%減少)、宮崎県が295億円(同12.2%減少)、岩手県が192億円(同21.2%減少)の順となった。

表4 林業産出額の上位5都道府県

都道府県	令和元年	2	3	4	5						
					実数	構成割合	対前年増減率	1位部門		2位部門	
								部門	実数	部門	実数
都道府県計	億円	億円	億円	億円	億円	%	%		億円	億円	
	4,545.7	4,286.1	4,839.1	5,085.3	4,751.0	100.0	△ 6.6	木材	2,481.0	栽培きのご類	2,199.2
うち長野	566.9	598.2	577.8	574.4	609.0	12.8	6.0	栽培きのご類	540.8	木材	64.0
新潟	469.3	481.0	441.9	440.5	472.3	9.9	7.2	栽培きのご類	457.3	木材	13.8
北海道	466.9	387.7	416.0	479.2	434.0	9.1	△ 9.4	木材	349.5	栽培きのご類	76.7
宮崎	287.8	255.0	372.2	335.5	294.5	6.2	△ 12.2	木材	243.9	栽培きのご類	48.7
岩手	192.5	178.2	193.1	243.9	192.3	4.0	△ 21.2	木材	148.6	栽培きのご類	37.6

注： 都道府県別産出額には、全国値に計上する木材生産におけるパルプ工場へ直接入荷されるパルプ用素材、輸出丸太及び燃料用チップ素材の産出額、薪炭生産におけるまきの産出額、林野副産物採取における木ろう及び生うるしの産出額を計上しない。また、全国値には計上しない木材生産における他都道府県に販売されたしいたけ原木の産出額を計上する(以下同じ。)

表5 木材生産の産出額の上位5都道府県

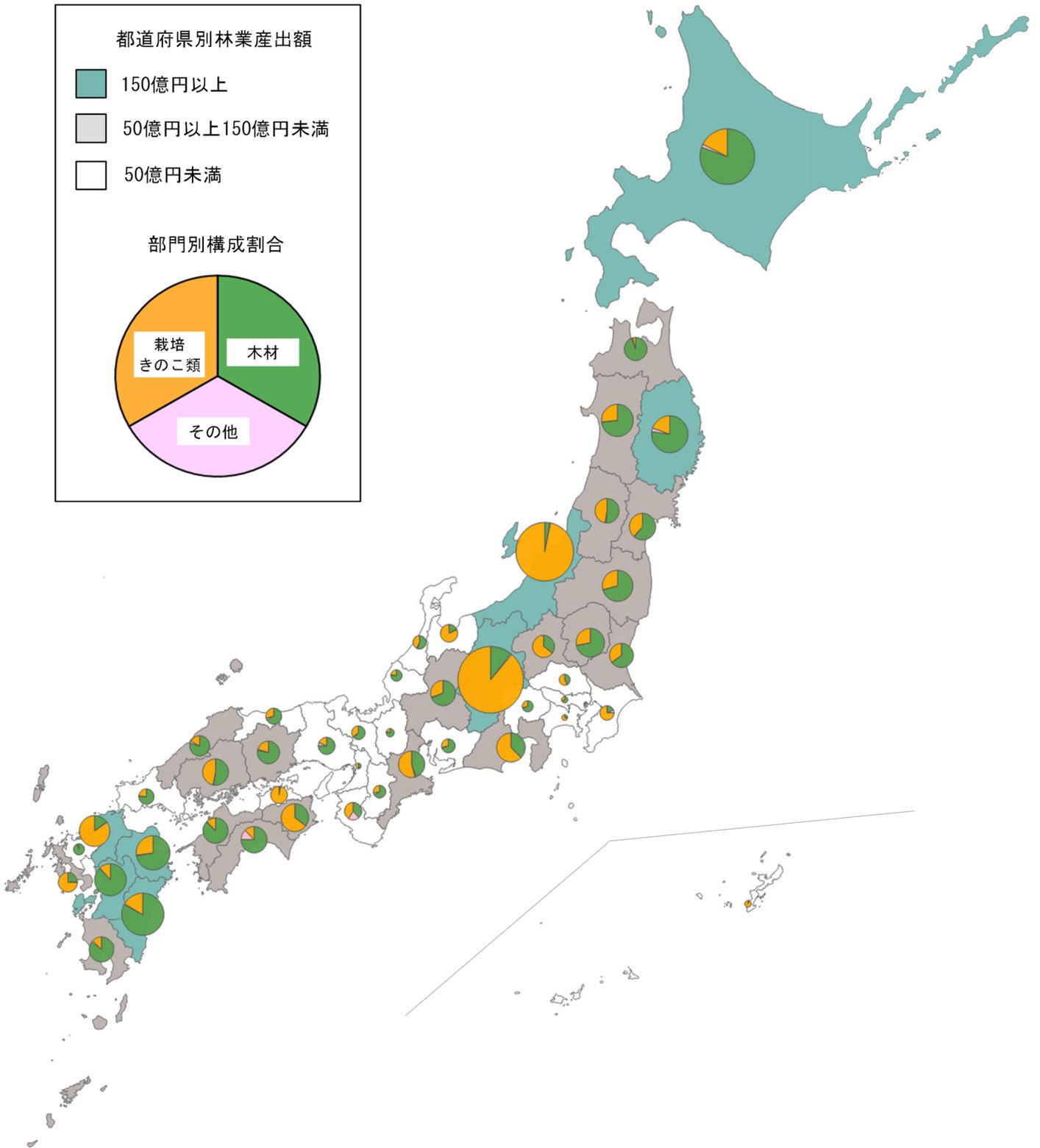
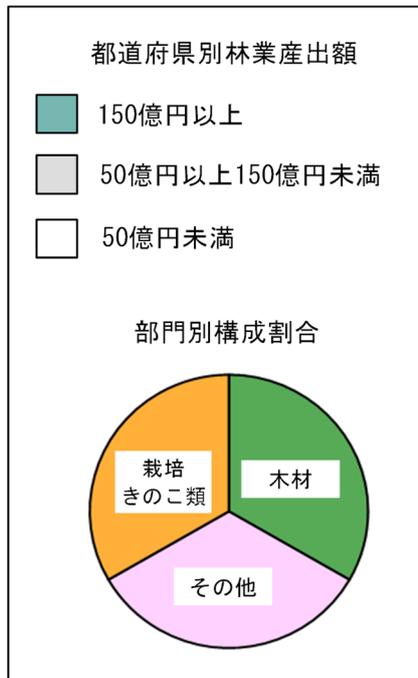
都道府県	令和元年	2	3	4	5		
					実数	構成割合	対前年増減率
都道府県計	億円	億円	億円	億円	億円	%	%
	2,294.0	1,943.7	2,665.5	2,928.2	2,481.0	100.0	△ 15.3
うち北海道	357.5	279.3	314.5	384.3	349.5	14.1	△ 9.1
宮崎	231.5	197.7	321.7	282.8	243.9	9.8	△ 13.8
岩手	149.3	130.7	149.8	201.1	148.6	6.0	△ 26.1
熊本	132.2	114.2	168.4	159.9	144.1	5.8	△ 9.9
大分	138.7	103.8	170.9	160.4	135.6	5.5	△ 15.5

表6 栽培きのご類生産の産出額の上位5都道府県

都道府県	令和元年	2	3	4	5		
					実数	構成割合	対前年増減率
都道府県計	億円	億円	億円	億円	億円	%	%
	2,166.7	2,259.3	2,091.3	2,066.1	2,199.2	100.0	6.4
うち長野	509.4	545.6	502.3	487.0	540.8	24.6	11.0
新潟	455.5	469.4	427.0	418.4	457.3	20.8	9.3
福岡	116.2	125.7	110.9	106.4	129.3	5.9	21.5
北海道	97.7	96.9	90.6	79.1	76.7	3.5	△ 3.0
静岡	79.9	84.5	72.9	66.9	72.2	3.3	7.9

図3 都道府県別林業産出額及び部門別構成割合

(凡例)



注：都道府県ごとの円グラフの大きさは、林業産出額（実額）を表している。